

日本アマチュア無線連盟



国際アマチュア無線連合
- 第三地域

国際アマチュア無線連合(IARU) - 第三地域
アジア/太平洋地域

日本アマチュア無線連盟(JARL)

第10回 IARU 第三地域
ARDF 選手権大会

2015年9月6日 - 12日

群馬県渋川市、日本

ブリテン No. 2

(2015年5月22日)

主催団体

日本アマチュア無線連盟

住所: 〒170-8073 東京都豊島区南大塚 3-43-1 大塚 HTビル6階

電話番号: 03-3988-8749 (業務課)

ファックス番号: 03-3988-8772

電子メールアドレス: oper@jarl.org

大会情報 WEB: <http://www.jarl.com/reg3ardf2015/japan/>

開催地

2015年のIARU 第三地域 ARDF 選手権大会は、日本の群馬県渋川市で開催されます。渋川市は日本の首都東京の北西150kmに位置します。

渋川市の地域情報

<http://www2.wind.ne.jp/heso/english/index.html>

開催地までの移動方法

成田/羽田空港から開催地まで、バスを用意しました。私たちは、これら10,000円(往復-片道しか利用しない場合でも同額)で提供します。前もって申し込んでください。

開催地域は、バスで成田空港からは約4時間、羽田空港からは約3時間の位置にあります。

9/6 到着日のバス便本数や空港発時刻はみなさんの到着便状況を考慮して最終決定しますが、最終バス発時刻は、成田空港・羽田空港ともに15時頃を予定してます。

9/12 出発日の空港到着予定時刻は12時頃を予定してます。しかし交通混雑のため遅延する可能性があります。

宿泊

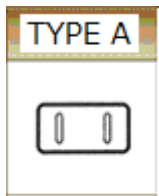
宿泊は群馬県渋川市伊香保の温泉地域です。伝統的な日本の旅館を用意します。このホテルでは西洋式のベッドは利用できません。代わりに布団を用意します。部屋にシャワーはありませんが、温泉があります。情報源として次のウェブページを参照ください。山陽ホテルは今回用意しようとしているホテルの一つです。このウェブで大会期間の宿泊の予約する必要はありません。

<http://www.booking.com/hotel/jp/sanyo.html?aid=330843;lang=en>

ホテルで用意している食事は日本食のみ(魚・野菜・肉・etc.)です。ベジタリアン・アレルギー対応食の用意はありません。ホテルでは、用意した食事以外の飲食は別料金で各自がホテルに支払ってください。

風呂は男女別共同温泉浴場です。

AC は100-110V 50Hz コンセントタイプはAです。



AC 電源のコンセントアダプターや変圧器の用意はありません。

天気

この期間の天候は安定です。 おおむね晴れで、気温は18-24℃です。

地勢

いずれの競技エリアも宿泊場所からバスで約30分のところにあります。 競技エリアはほとんどは森で海拔600-700mです。

日付と競技の種類

- 9月6日(日) - 到着、受付
- 9月7日(月) - 練習、開会式
- 9月8日(火) - クラシック第一競技、表彰式
- 9月9日(水) - スプリント、表彰式
- 9月10日(木) - クラシック第二競技、表彰式
- 9月11日(金) - フォックス - O - リング、 表彰式、閉会式、バンケット
- 9月12日(土) - 出発

参加費および支払い条件

A) 競技者およびチーム役員のトータルパッケージ:

6月15日までに支払う場合 - 70,000 円。

6月16日以降6月30日までに支払う場合 - 77,000円

9月6日の夕食から12日の朝食。 6泊の宿泊、ホテルから競技エリアまでの移動費、競技費、バンケット費を含みます。

B) ビジターのトータルパッケージ:

6月15日までに支払う場合 - 60,000 円。

6月16日以降6月30日までに支払う場合 - 67,000円

9月6日の夕食から12日の朝食。 6泊の宿泊、ホテルから競技エリアまでの移動費、バンケット費を含みます。

C) 移動費

10,000円,

空港(成田空港および羽田空港)からホテルまでバスの往復。:

片道の未利用の場合も10,000円です。

D) 申し込み

申し込みは大会情報 WEB からダウンロードし、エントリーシートに必要事項を記入し、6月15日までに(oper@jarl.org)送信してください。

なお、エントリーシートには、選手、役員、見学者すべてを記入してください。

E) 支払

銀行名:三菱東京UFJ銀行

支店名:駒込支店

預金種別:当座預金

口座番号:9003391

口座名義:一般社団法人日本アマチュア無線連盟

イッパンシャダンハウジン ニホンアマチュアムセンレンメイ

遅延料金が発生しない最終支払期日: 2015年6月15日

エントリー費用の最終受領日: 2015年6月30日

一度納入された参加費は原則として返金いたしません。

カテゴリー

本大会では、次のようにカテゴリーとエントリー人数を設定します。

女性(W)	男性(M)	年齢
W15	M15	2000年1月1日以降に生まれた女性または男性
W19	M19	1996年1月1日以降に生まれた女性または男性
W21	M21	年齢不問
W35	-	1980年12月31日までに生まれた女性
-	M40	1975年12月31日までに生まれた男性
W50	M50	1965年12月31日までに生まれた女性もしくは男性
W60	M60	1955年12月31日までに生まれた女性もしくは男性
-	M70	1945年12月31日までに生まれた男性

それぞれの団体は、4つの競技を通じてそれぞれのカテゴリーに3名以内の選手からなる1チームのみエントリーすることができます。但し、W15/M15 および W19/M19 は2チーム目をエントリーすることができます。なお、2チーム目はBチームになり、アンオフィシャルの扱いになります。

チーム役員の最大数は5人とします。

審判団

現時点で審判団のメンバーとして決まっているのは以下の通り。今後追加予定です。

審判員:

JF1RPZ	出田 洋 (JARL),	審判団議長
JH1BVS	三村 雅彦 (JARL),	サイト審判員
JA0QBY	西原 辰雄 (JARL),	スタート審判員
JF3KRL	菊一 好史 (JARL),	フィニッシュ審判員
JR0AIJ	新井 喜雄 (JARL)	
KE6HTS	Marvin Johnston (ARRL)	
VK3VT	Gregory Williams (WIA)	

テクニカルディレクター :

JL1GDQ 柴田 哲 (JARL)

大会のルール

本大会は、IARU Reg.1の制定するARDF大会のルールに準じて行います。

ルールと異なる点は次の通りです。

- クラス W15/M15 および W19/M19 はすべての参加国で、2 チーム目を B チームとしてアンオフィシャルに出場することができる。
- 各カテゴリーで、参加国のチームが規定の数に満たない場合でも、表彰の対象となる。
- 送信周波数で一部規定とそぐわない点がある。詳細は、「使用する機器」の項目を参照のこと。

記録機器

本大会では、記録機器としてSIシステムを使用します。

SIカードは貸与されますが、紛失した場合は実費を請求します。

使用する機器の規格

3.5MHz クラシック

送信機:	送信周波数	TX1-TX5(コードMOE-MO5)	3.520MHz
		フィニッシュビーコン(コードMO)	3.570MHz
	電波形式	A1A	
	送信出力	3W	
アンテナ:	8m 垂直	+ 10mカウンターポイズ2本	

144MHz クラシック

送信機:	送信周波数	TX1-TX5(コードMOE-MO5)	145.66MHz
		フィニッシュビーコン(コードMO)	145.78MHz
	電波形式	A2A	
	送信出力	0.5W	
アンテナ:	ヘイローアンテナを予定		

3.5MHz スプリント

送信機: 送信周波数	TX1-TX5(コードMOE-MO5)	3.520MHz
	スペクテイター(コード S)	3.540MHz
	TX1F-TX5F(コードMOE-MO5)	3.570MHz
	フィニッシュビーコン(コードMO)	3.600MHz

電波形式 A1A

送信出力 1W

アンテナ: 2m 垂直 + 10mカウンターポイズ2本

3.5MHz フォックス-O-リング

送信機: 送信周波数	TX1-TX10(コードMO)	3.520MHz
	フィニッシュビーコン(コードMO)	3.570MHz

電波形式 A1A

送信出力 10mW

アンテナ: 30cm 垂直 カウンタポイズ無し

- *1) それぞれの信号の送信には、日本の法律に従い、定期的呼び出し符号が送信されます。
- *2) 144MHzクラシックの競技は、日本のバンドプランにより、144.5 - 145.0MHzは、A2Aの電波を送信することができないため、145MHz台での送信になっています。
- *3) 3.5MHz のスプリントで、TXとスペクテイターの送信周波数の差が20kHzとなっています。これは機器の準備の都合上です。
- *4) 144MHzのTXとフィニッシュビーコンの送信周波数の差が120kHzとなっています。これは機器の準備の都合上です。

GPS データを用いた競技再現デモンストレーション

私たちは、各競技終了後に擬似的に競技を再現する試みが実施 予定です。何人かの競技者が GPS 受信機を体に装着して競技に参加します。そして取得されたデータを競技後にコンピュータディスプレイ上で再生します。次の動画を見てください。

<https://www.youtube.com/watch?v=yXNJXgy5Nhg>

各送信機の電波送信タイミングも表示されるため、非常に臨場感があります。山陽ホテルのイベントルームにおいて、その日に行われた競技のデモ再生を行います。毎日夕刻には再生を開始する予定です。夕食前のひとは、山陽ホテルのホールでデモンストレーションを見ながら、競技を振り返り、語らしましょう。

なお、詳細については web を参照してください。

ビザについて

日本の政府は、訪問者に対しビザを要求します。情報については次のウェブページを参照してください。ビザの申請と入手は訪問者の責任です。我々はそのお手伝いをします。

http://www.mofa.go.jp/j_info/visit/visa/index.html

いくつかの国からの訪問者はある条件の下でビザが免除されます。

例外にあたる国(一部抜粋):

(次の国からの訪問者に当たる場合でも、上のウェブページを確認してください)

韓国

タイ (ICAO 標準のEパスポートのみ)

オーストラリア

アメリカ合衆国

台湾 (個人のID番号が記載されているパスポートのみ)

特別記念局

第三地域の ARDF 選手権大会を記念して、大会の前と大会期間中に特別記念局を運用します。コールサインは、

8N13ARDF

で、5月1日より運用を開始しております。

大会期間中は海外の選手でもハムの免許を持っていれば、ゲストオペレータとして運用できる可能性があります。

この局を運用できる資格について、次のウェブページとそのページの付録1を参照してください。

https://www.jarl.org/English/3_Application/A-3.htm#guest

重要なお知らせ

参加意思表示の通知

~~—このブリテンの最後に、参加意思表示の通知の用紙があります。これを記入し、主催者に2015年3月31日までに返送してください。~~

原子力発電所の事故の影響について

2011年3月11日、東北地方を中心とする東日本は、マグニチュード9.0巨大地震に襲われました。最大震度は7で、この地震により巨大な津波が発生し、東日本の広い範囲で大きな被害が発生しました。この震災によって、18,000人以上の尊い人命が失われました。震災の発生を受けて、世界中の多くの国と地域の方々からさまざまな形で支援していただきました。日本人々は、これらの支援に対し、深く感謝しています。

この地震によって発生した津波により、東京電力の福島第一原子力発電所では、炉心溶融を伴う原子力事故が発生しました。この事故は、国際原子力事象評価尺度 (INES) でレベル7に分類されていることから、海外から訪日される皆さんにご心配をおかけしましたが、現在では事故現場の周辺のごく一部の地域を除き空間線量は正常な値であり、日本国内で流通している農作物などの食料品を含め、健康には問題ありません。「安心して日本を旅行していただくために」と題した日本政府(観光庁)が作成した冊子を紹介しますので参考にしてください。英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語で書かれています。

どうぞ、安心して日本へお越しください。

English: <http://www.mlit.go.jp/common/000226526.pdf>

Chinese (Simplified): <http://www.mlit.go.jp/common/000226529.pdf>

Chinese (Traditional): <http://www.mlit.go.jp/common/000226528.pdf>

Korean: <http://www.mlit.go.jp/common/001011783.pdf>

German: <http://www.mlit.go.jp/common/000226531.pdf>

French: <http://www.mlit.go.jp/common/000226530.pdf>

参加意思表示の集計

3月31日までに届いた各組織の参加意思表示人数は、次の通りです。

	選手	役員	ビジター	合計
RAST(タイ)	8	3	-	11
WIA(オーストラリア)	6	-	-	6
CRSA(中国)	48	2	3	53
MRSF(モンゴル)	20	-	-	20
KARL(韓国)	12	2	1	15
ARRL(USA)	9	1	0	10
JARL(日本)	42	4	9	55
合計	145	12	13	170

* モンゴルはIARUのReg.3.に属していませんが、従来からARDFの活動はReg.3で行うことになっているので、オフィシャルの表彰対象となります。

次回のブリテン

ブリテン3は2015年7月の中旬に発行予定です。